

コロンビア経済情勢（12月分）

12月のコロンビア経済概況は以下のとおり。

【ポイント】

- 違憲判決が下された税制改革法の代替法案（経済成長法）が成立
- 10%を超える税収増加
- オレンジ経済は、2018年のGDP比3.2%を占める
- 対外債務はGDP比42.9%に到達
- 2019年1月～9月までの対内直接投資は25%増加

【本文】

1 主な出来事

<国内情勢>

（1）2019年の主な経済指標（29日、当地紙報道）

2019年の、コロンビアの経済成長率は、ラテンアメリカ地域の経済成長率0.1%と比べ、高い水準となる3.2%となった。これは、好調な家計支出に支えられていると見られる。また、インフレ率が3.8%に抑えられていること、産業部門の回復、1日あたりの石油生産量が約88万バレルと安定した水準となっていること、自動車販売台数が高い水準となっていることなどが、経済の好調を示している。一方で、11月末に9.3%となった高い失業率は、懸念材料といえる。また、全国ストライキで明らかになった市民に燻っている不満は、より公平な社会に向けた社会・経済改革が喫緊の課題であると示している。

2020年には、経済成長率3.2%、インフレ率4%、政策金利4.25%、年間平均為替1米ドル＝3,360ペソ、石油価格1バレル67.8米ドルとなると予測されている。

（2）オレンジ経済は、2018年GDPの3.2%を占める（18日、当地紙報道）

DANEによれば、いわゆるオレンジ経済部門は、2018年のGDPの3.2%に相当する約30兆ペソ（約94億米ドル）を占めた。オレンジ経済には、デジタルメディア、ソフトウェア、デザイン、広告、芸術、文化遺産が含まれる。また、2018年には、これらの分野で54万人近くの雇用が生み出された。オレンジ経済分野の成長は、税制優遇措置によって、今後数年間増加すると見込まれている。

（3）最低賃金が6%増加（27日、当地紙報道）

最低賃金に関する事業者団体と労働組合の協議が不調に終わったのを受けて、政府は2020年の国内の最低賃金を6%増の877,803ペソとし、交通費を102,854ペソとした。最低賃金の総額は、980,657ペソ（約280米ドル）となる。2020年のインフレ率は3%を予測されているため、この2倍の上昇率となれば、雇用率を悪化させずに、消費を引き上げることができると見込まれる。

(4) 経済成長法が成立 (21 日, 当地紙報道)

カラスキージャ財務・公債相は、憲法裁判所による違憲判決が下されていた資金調達法に代わる税制改革法として、国会に提出されていた経済成長法案が、20 日に下院を通過し、国会の審議プロセスが終了したと発表した。同法の重要な点は、企業への優遇策、低額年金受給者への健康保険料の低減、貧困層への付加価値税の還付、年に 3 日間の付加価値税免除日の設定となっている。

(5) 鉱業権収入分配法案が成立 (5 日, 当地紙報道)

新たな鉱業権収入分配法案が可決されたことにより、2020 年から、同収入の配分が、鉱山の所在する地域 20%、優先される自治体 15%、鉱山の所在する自治体 5%、地域投資 35%、科学技術振興 10%、和平 7%、貯蓄 4.5%などとなっている。従って、今回の改革によって、他の地域に影響を与えることなく、鉱山の所在する地域により多くのリソースが割り当てられることになる一方、貯蓄に回される額は少なくなる。

(6) 修正標準仕様法が成立 (13 日, 当地紙報道)

議会は、汚職対策として、インフラ工事の入札時に適用される「標準仕様 (pliegos tipo)」法を承認した。しかし、コロンビア・インフラ商工会議所及び土木技術者学会によれば、地方自治体による文書審査手続きに関する修文により、当初追求した程度の高い透明性は担保されないとコメントしている。

(7) 中国のコンソーシアムがライトレールの契約書に署名 (2 日, 当地報道)

唯一の応札者であった中国のコンソーシアム、シビル・エンジニアリング・コンストラクション・コーポレーションは、ボゴタ市西部とサバナ地域の各自治体を結ぶ地域間鉄道輸送システムである、「西部ライトレール」を受注した。この契約は、4 つの工事と 22 の取引を含む 26 年契約で、総費用は 3.4 兆ペソとなる。署名式は 12 月 23 日となる。

(8) 生産及び販売は好調 (14 日, 当地紙報道)

DANE によると、10 月の工業生産は、前年同期と比較して 2.1%の増加となった。また、2019 年 1~10 月までの期間では 1.6%の増加となった。自動車及び化学製品生産に牽引され、39 の工業製品分野のうち、22 分野が成長した。また、10 月の工業売上高指数は、前年同期比 2.7%の増加となった。

(9) 鉱山・エネルギー大臣、シェールオイル開発ルールは 2020 年 7 月に実施 (4 日, 当地紙報道)

スアレス鉱山・エネルギー相は、専門家委員会の報告に基づいて、シェールオイル開発に関する国の規制は、すでに起草されており、2020 年前半には最終準備が整う旨述べた。

(10) コーヒー業界は好調 (18 日, 当地紙報道)

コロンビアコーヒー生産者連合会 (FNC) は、コーヒー業界は 2019 年を好調の内に終わられる旨述べた。コーヒーの一袋あたりの国内価格が 100 万ペソ (約 313 米ドル) となっており、これにより収益の増加が見込める。これは、1 ポンドあたり 1 ドルを超える高水準の国際価格とペソ価格の下落による。また、コーヒー農園の刷新が行われ、生産性も向上しており、2019 年の生産量は約 1,400 万袋となる。

(11) 11月までの税収は147.9兆ペソに達する(11日, 当地紙報道)

国税・関税庁(DIAN)は, 1月から11月までの徴税額が147兆9,000億ペソ(約462億米ドル)となると発表した。これは, 前年同期の徴収額と比較して, 11.6%の増加となり, 年間予算目標に達するまで, わずか10兆ペソ(約3億ドル)を残すのみとなっている。これは, 法人税が前年同期の12.1%増となる48兆ペソ(約15億米ドル)となったことによるとみられる。11月の徴税額は14兆6,800億ペソ(約46億米ドル)で, 前年同月比12%増となっている。

(12) 対外債務は, GDPの42.9%に到達(11日, 当地紙報道)

中央銀行は, 2019年9月の対外債務額が1,361億8,400万米ドルに達したと発表した。これは, 1,275億1,900万米ドルであった昨年末と比べて6.79%に相当する86億6,500万米ドルの増加となる。この内, 728億7,300万米ドルは公的債務に相当し, 633億1,100万米ドルは民間債務に相当する。また, 総負債額をGDP比で見ると, 2018年8月は38.3%であったが, 2019年8月には42.9%となっている。

(13) 9ヶ月間に対外直接投資が25%増加(3日, 当地紙報道)

中央銀行の発表によると, 2019年1月から9月末までの対外直接投資累計額は, 108億2,100万米ドルに達し, 前年同期比25.1%の増加となった。この内の68.8%に相当する68億9,900万米ドルは, 農業製造, 建設, 商業などの非鉱業・エネルギー部門となり, これらの部門では, 前年同期比較18.1%の増加となった。レストレポ商工観光相は, 資金調達法の好影響である旨述べた。

(14) 石炭輸出の落ち込みが総輸出額の減少の68%を占める(13日, 当地報道)

コロンビア全国石炭組合(Fenalcarbon)は, 2019年の石炭の輸出量が7,940万トンとなったと試算した。これは, 前年より730万トン減少したこととなる。政府は, これにより約54億米ドルの歳入を得るが, これは, 2018年と比較して約20億米ドルの減少となる。この金額は, 国の総輸出額の減少額の内68%を占める。

<対外経済関係>

(1) 英国との租税条約の発効(19日, 当地紙報道)

コロンビアと英国は, 2020年1月1日から租税条約が発効すると発表した。これは, 両国の当局により, 貿易投資促進のための主要な手段と考えられてきた。2020年1月31日の, 英国のEUからの脱退後を見据えた二国間関係の強化への重要な進展となる。この数ヶ月間に, 英国はコロンビア, エクアドル, ペルーと自由貿易協定を締結し, EUと同水準の関税条件を維持する。

(2) 韓国の対コロンビア投資増加の見込み(19日, 当地紙報道)

16日, ラミレス副大統領は, 農産品の輸出, 韓国からの投資促進, 首長との連携の強化及びコロンビアのOECD加盟に関する韓国のグッドプラクティスなどを目的として, 韓国を訪問した。これに合わせ, 世界最大規模を誇る再保険会社であるコリアンRE社がラテンアメリカ市場参入のため, コロンビアに進出することが決定された。また, テレビ局MBC社はコロンビアで韓国語コンテンツの制作を行うために, コロンビアに招待されることとなった。一方, ラミレス副大統領は, 両国間の企業家の交流, 商業, 産業, 投資関係の促進のためにコロンビア・韓国ビジネス委員会を設立する旨, 発表した。

(3) 中国向けハス種アボカドの出荷準備が完了 (3日, 当地紙報道)

12月第一週に、アンティオキア県で収穫された22トンのハス種アボカドのコンテナがカルタヘナ港から上海市に向けて出荷される。コロンビア農牧庁(ICA)は今回の出荷に関し、この2年間は検疫外交として交渉プロセスを加速化させた、合計7年に渡るハス種アボカド国際市場開拓のための努力の成果であるとした。2019年1月から11月までの間に、コロンビアから38,215トンのハス種アボカドが世界に輸出された。

(4) 中国系企業が金の採掘権を取得 (3日, 当地紙報道)

中国企業である紫金鉱業は、カナダの鉱業会社であるコンチネンタル・ゴールド社のコロンビア権益を14億カナダドルで買収した。同社の事業の中には、2020年にアンティオキア県で操業が開始されるブリティカ金鉱プロジェクトが含まれている。このプロジェクトでは、年間28~30万オンスの金が採掘されるとされている。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

10月の実質小売売上高指数は前年同月比7.4%であった。

(イ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

10月の消費者信頼感指数 (ICC) は、▲9.8%と前月 (▲10.7%) を0.9ポイント上回り、前年同月▲1.3%を8.5ポイント下回った。

(2) 産業動向

(ア) 石油生産量 (鉱山・エネルギー省発表)

11月の石油生産量は日量88.0万バレルであり、前年同月比▲0.34%となった。

(イ) コーヒー

(i) 生産 (コーヒー生産者連盟 (FNC) 発表)

FNC加盟コーヒー生産者による11月のコーヒー生産量は151万袋 (1袋=60kg) となり、前年同月比15.8%となった。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

11月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド=1.44ドル (前月は同1.32ドル、前年同月は1.41ドル) であった。

(ウ) エネルギー需要

11月のコロンビアのエネルギー需要は5,979GWh、前年同月比2.92%であった。

(3) 物価・雇用 (DANE 発表)

(ア) 物価

11月の消費者物価上昇率は0.10%、生産者物価上昇率は▲0.02%であった。

(イ) 雇用

11月の全国平均失業率は9.3%と、前年同月の8.8%より0.5ポイント悪化した。また、主要13都市の平均失業率は10.4%と、前年同月の9.8%より0.6ポイント悪化した。

(4) 貿易収支 (DANE 発表)

10月の貿易収支 (FOB) は、8.1億ドルの赤字であった。輸出 (FOB) 全体では、前年同月比▲11.9%の33.20億ドル、輸入 (CIF) 全体では、前年同月比▲16.1%の43.33億ドルとなった。

2 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	2018/10	2019/8	2019/9	2019/10
(ア) 実質工業生産指数（前年同月比）	5.8	0.1	0.3	2.1
(イ) 実質工業売上高指数（同）	7.0	-0.1	1.3	2.7
(ウ) 実質小売売上高指数（同）	6.5	9.5	6.9	7.4
(エ) 新規建設着工承認面積（単位：万㎡）	187.9	163.5	166.7	163.7
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	18/11	19/9	19/10	19/11
(ア) 全国平均	8.8	10.2	9.8	9.3
(イ) 主要13都市平均	9.8	10.1	10.4	10.4
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	18/11	19/9	19/10	19/11
(ア) 前月比	0.12	0.23	0.16	0.10
(イ) 前年同月比	3.27	3.26	3.86	3.84
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	18/11	19/9	19/10	19/11
	4.25	4.25	4.25	4.25
(5) 為替（対ドル為替レート） (単位：ペソ，出所：中央銀行)	18/11	19/9	19/10	19/11
(ア) 月初	3,219.85	3,427.29	3,477.45	3,383.29
(イ) 月末	3,240.02	3,462.01	3,389.94	3,522.48
(ウ) 最高値	3,274.47	3,462.01	3,497.34	3,522.48
(エ) 最安値	3,140.25	3,356.15	3,380.90	3,318.47
(6) 株式指数COLCAP (単位：ポイント，出所：COLCAP)	18/11	19/9	19/10	19/11
(ア) 月初	1,383.02	1,560.81	1,582.42	1,645.88
(イ) 月末	1,379.24	1,577.96	1,633.15	1,611.92
(ウ) 最高値	1,436.90	1,601.43	1,633.92	1,665.69
(エ) 最安値	1,370.91	1,560.81	1,574.83	1,587.33
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	18/10	19/8	19/9	19/10
(ア) 輸出額（FOB）	3,786.6	3,256.6	3,079.8	3,319.50
(イ) 同 年内累計	35,105.6	26,812.4	29,902.1	33,210.0
(ウ) 輸入額（CIF）	5,165.5	4,913.1	4,200.4	4,333.30
(エ) 同 年内累計	42,571.9	35,333.3	39,533.6	43,867.0
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	18/11	19/9	19/10	19/11
	574.5	552.8	596.9	543.7
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	18/11	19/9	19/10	19/11
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	9,560.00	9,734	9,734.00	9,705.00
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：ECONOMETRIA)	18/11	19/9	19/10	19/11
(ア) 単月	26,290	22,673	23,890	23,989
(イ) 年内累計	223,550	185,092	208,982	232,971